

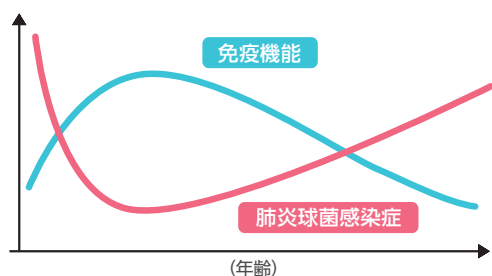
高齢者が接種を推奨されているワクチン¹⁾☐ 肺炎球菌ワクチン☐ 帯状疱疹ワクチン☐ インフルエンザワクチン☐ RSウイルスワクチン☐ 新型コロナワクチン

これからの自分のために肺炎予防していますか

免疫低下は、「見えない老化」です

加齢とともに、免疫機能が低下します。
免疫機能が低下すると、肺炎球菌感染症にかかりやすくなります。

免疫機能と肺炎球菌感染症の関係(イメージ図)



65歳以上は、
肺炎球菌感染症に罹患するリスクがあります¹⁾

監修：竹屋 泰 先生 大阪大学大学院医学系研究科 老年看護学 教授
1) Imai K, et al. *BMJ Open*. 2018; 8(3): e018553.

高齢者が肺炎で入院すると…

- ・ 足腰の筋肉が衰える¹⁾
 - ・ 認知症になる可能性がある²⁾
- ことが報告されています。



足腰の衰え



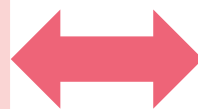
認知症

1) Martín-Salvador A, et al. *Arch Bronconeumol*. 2015; 51(10): 496-501.
2) Shah FA, et al. *Am J Respir Crit Care Med*. 2013; 188(5): 586-592.

ワクチンの接種間隔

肺炎球菌ワクチンと
その他のワクチンの接種間隔に
制限がありません。
医師が特に必要と認めた場合は、
同時接種が可能です²⁾。

肺炎球菌ワクチン

インフルエンザワクチン、
新型コロナワクチン、
帯状疱疹ワクチン
RSウイルスワクチン など

同時接種可能

肺炎球菌ワクチンはすべての肺炎を防ぐものではありません、
うがい、手洗い、マスクの着用など、日常生活での肺炎予防も心がけましょう。

1) 65歳以上の成人で接種を検討すべきワクチン | 高齢者診療におけるお役立ちツール | 一般社団法人 日本老年医学会
2) 厚生労働省：ワクチンの接種間隔の規定変更に関するお知らせ

肺炎球菌性肺炎にかかるリスクが高い方¹⁾

日本人を対象にした調査では、
発症のリスクはそれぞれ以下のように示されていました。

 **65歳以上**の方は、50歳～64歳と比べて**3.2**倍

健康な方と比べて



慢性心疾患の方は、**2.6**倍



慢性肺疾患の方は、**5.2**倍



糖尿病の方は、**1.9**倍



慢性肝疾患の方は、**2.1**倍



慢性腎疾患の方は、**2.6**倍



がんの方は、**1.7**倍

**肺炎球菌性肺炎を発症するリスクが高いことが
19歳以上を対象に行われた調査で報告されています。**

1) Imai K, et al. *BMJ Open*. 2018; 8(3): e018553. より作図 【利益相反】本研究はMSDからの資金提供により実施され、著者には同社の社員が含まれている。



MSD

製造販売元
MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
<https://www.msd.co.jp/>

2026年8月作成
CAP26PA0094